

「冬季戦技等を体験。入隊意欲向上！」～冬季戦技等を体感し、教育大隊を研修・懇談～

自衛隊札幌地方協力本部（本部長 栗田昌彦 1 陸佐）は、令和 6 年 2 月 4 日（日）、陸上自衛隊入隊予定者及び保護者ら 32 名に対して、第 120 教育大隊の研修及び冬季戦技等体験ツアーを実施しました。

本研修は第 11 旅団及び第 120 教育大隊との協同により、第 120 教育大隊の教育内容や生活環境等を入隊予定者らに紹介するとともに、冬季戦技等の体験を通じて冬季ならではの魅力を発信し、安心感の付与及び入隊意欲の向上を図り、併せて新規募集対象者に対して陸上自衛隊の魅力を発信することを目的としています。

参加者は、10 式雪上車の体験試乗のほか、上級スキー指導官の説明の後、官品スキー及びかんじきの装着体験を行った。日頃から慣れ親しむスキーと官品スキーとの違いに興味を抱くとともに、初めてのかんじきを体験し、雪に沈まない感覚に歓声を上げながらも、恐る恐る新雪を踏みしめ、自由に行動できる陸上自衛官の装備と技能に惹かれた様子でした。

午後からは、第 120 教育大隊の池田大隊長が前期教育の概要等についてビデオを併用して説明し、施設見学、第 120 教育大隊の助教との懇談を実施しました。

今回保護者との懇談には札幌自衛隊家族会からも参加し、入隊時期が近づいてきた参加者らは、具体的な質疑応答により、不安を軽減するなど懇談は終始盛り上がりました。参加者からは「入隊後の流れが良く分かった」「直接教えてくれる教育隊の方と話が出来て安心した」などの声が聞かれました。

札幌地本は、翌週も空自研修を計画するなど、今後も部隊と連携し、入隊予定者らの不安解消に努めるとともに、引き続き自衛隊の活動や任務を理解してもらえよう、募集広報活動に全力を注いでいきます。



参加者の記念撮影



雪上車の体験試乗



かんじきの取り付けを体験



官品スキーの体験



教育大隊長の講話



札幌自衛隊家族会会員と
保護者との懇談